

第七町内会だより

令和4年3月
発行人 綿谷 隆
編集人 田中 啓二

二か月ぶりに「まん延防止」解除へ

1月から適用されていた「まん延防止重点措置」は解除されましたが、これからもマスク・手指消毒やうがいなど感染防止を心がけた生活は必要です。

2月16日～17日に町内会の生活道路除排雪を実施しましたが、その後の豪雪でもとに戻り「もう一週間遅ければ」と思っていました。札幌市は国交大臣に除雪費用援助の交渉を行い300億の援助が決まりましたが、まだまだ残る雪山の処理と来期対策に向けて今後の対応を望むところです。

年が明けてから北日本は大雪に伴うJR運休や交通障害、農業被害、3月には宮城県・福島県の地震による被害、そして国際情勢に目を向ければウクライナに対するロシアの武力による侵略のニュースが毎日報道されています。

私たちの生活にも物価の上昇を始めとして、今回の地震で改めて表面化したエネルギー問題など直接的・間接的に様々な影響が出ています。町内会はこれからも地域で安心して暮らせる環境作りに努力してまいります。皆様のさらなるご協力をお願い申し上げます。

飛出し注意 の看板を制作



子どもがスケートボードなどをしたり、自転車に乗った高齢者がいきなり飛び出すなど危険な場面に出くわすことがあります。また一時停止をしない車両も。事故防止の立て看板を作成しました。大人も子どもにも分かりやすいピクトグラムを採用、危険だと思われる交差点などに設置します。

2月7～8日の二日間、第七町内会では北郷小学校と協力し

北郷小学校除雪体験学習



て今年も除雪体験学習を行いました。北郷小学校4年生が2日間に分けて、第7町内会の高齢者宅の玄関前や町内会防災倉庫周辺の除雪を行いました。

除雪体験は初めてという子どもも多く、雪の山を見てどうやれば効率的に除雪ができるかなど、それぞれが意見を出しながら分担して作業を進めていました。

今年は積雪量が多く捨てる場所にこまるような状況でしたが、白石ゴムさんが除雪した雪の排雪に協力していただきました。この様子は白石区のホームページでも紹介されているので、ご覧になって下さい。

ごみステーション除雪

1月22日(日)午前10時から町内のごみステーションの除雪作業を行いました。今シーズンは12月以降50センチを超える降雪が3回もあったため、雪に埋もれたごみステーションが多くありました。役員8人が参加し除雪を行いました。

また、2月初めの大雪でごみ収集車が運行できずごみ回収ができない事態となりました。



役員の岡春夫さんがテレビに出演されました

ごみ問題の特集でH T B「今日ドキッ」の取材を受け、2月16日に放映されました。



岡さんは長年にわたり第七町内会の中心メンバーとして福祉厚生部長などを歴任され、ごみ問題だけではなく、高齢者の見守りや身の回りの生活支援など精力的に活動されています。また「北郷長寿会」の会長としても活躍されています。

町内会がその連絡を受け、たのが前日の夕方、のことだったため、急遽、役員が手分けして手書きの案内を作り、各ごみステーションに掲示して回りました。

